



玄真堂 理事長  
川寫 真人氏

## 中国での医療技術支援花開く

地域医療の道をたゆまず歩んできた。昨年の秋の叙勲では旭日双光章を受章。「ふるさとで実践的な医療に努めながら、研究テーマを深めてきた。一生懸命やってきて良かった」と喜びを語る。

潜水病と骨壊死を長年にわたり研究。「川寫式局所持続洗浄療法」と「高気圧酸素治療」を併用した骨・関節感染症などの治療を続けてきた。この方法は現在、多くの国で治療に取り入れられているという。「一隅を照らし、一隅に輝く」

地道な取り組みの継続で、世界への扉を開き、多くの人と の関係を築いてきた。

昨年も米国や韓国などの学会で発表・講演を重ねた。93年から中国への医療技術支援を続けており、連携する王興義医師の病院は「川寫式」を導入して骨髄炎患者の治療に当たっている。北京の7千坪の土地に3カ所目となる新病院を建設中といい「やってきたことが大きく花開いてきた」と感じている。

理事長を務めるアジア太平

### 病院DATA

- 診療科目  
整形外科・リハビリテーション科  
リウマチ科・放射線科・脳神経外科
- 診療時間  
月～金／9:00～17:30  
土／9:00～12:00
- 休診日  
日曜、祝日、年末年始(12月30日～1月3日)



技術の進歩に対応し、さまざまな治療法を導入

洋潜水・高気圧環境医学会の国際会合を10月、中津市で開催する。世界各国から研究者が集まり、研究成果を発表。熱い議論が交わされる予定だ。

川寫整形外科病院では、医療技術の進歩に対応し、さまざまな治療法を導入。3D骨モデルを作り術前計画に役立つ人工関節置換術、肩腱板断裂の関節鏡視下手術、ロコモティブ症候群の研究などに、それぞれの専門領域を持つ医師たちが取り組む。

一方で、「いくら頑張っても、一つの医療機関でできること

には限界がある」と連携にも注力。宇佐・中津・豊前地域の医療関係者で、骨粗鬆症に関する懇談会や大腿骨頸部骨折連係会議を定期的に開催している。「急速な高齢化の中、患者さんをきちんと診ていくには整形外科だけでは駄目。歯科や薬科、栄養科などもしっかりとコミュニケーションを取っていく必要がある」と考える。

今年のテーマは「不撓不屈と連携」。手を取り合い、患者にとってのより良い医療環境を常に模索する。

